

国立大学入学者選抜方法の改革について

昭和 60 年 6 月 20 日

国 立 大 学 協 会

1. 共通第 1 次学力試験については、国語、社会、数学、理科、外国語の 5 教科について試験を実施する。社会、理科の受験科目はそれぞれ 1 とする。

入学志願者に要求する共通第 1 次学力試験の受験科目の数は各大学の決定に委ねる。

ただし、5 教科を受験させることが望ましい。

社会については「倫理、政治・経済」、「日本史」、「世界史」、「地理」の内から 1 科目、理科については「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の内から 1 科目を選択解答させる。

なお、職業科高等学校出身受験者については、その履修の状況に鑑み、「現代社会」と「理科」とを出題科目に加え、あらかじめ願い出て選択解答出来ることとする。

2. この改革の実施時期は昭和 62 年度からとする。

3. 国立大学の受験機会の複数化については、引き続き検討を進める。